

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地域福祉推進事業				担当部	健康福祉部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	福祉総務課			
	事業期間	平成25年度		～	平成31年度以降		担当係	庶務係			
	総合計画 新基本計画	施策等	2 保健・福祉		10 地域福祉		2 地域福祉活動を普及・拡大するための仕組みを整えます				
			重点事業	○	実施計画事業	○					
	予算区分	款	3	項	1	目	1	大	6	中	1
	根拠法令・個別計画	第2次小牧市地域福祉計画・地域福祉活動計画									
	目的	何・誰を対象に	地域の住民、すべての住民								
		どのような状態にするのか	地域住民が支えあって共に生きるという共通認識の中で「新しい地域福祉モデル」の仕組みを築き、すべての住民が地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容 小地域(区)を単位とした福祉活動の推進に向けた座談会を14区、合計20回実施した。また、小学校区単位の地域福祉座談会を9小学校区において、地域福祉活動の実践者を中心としたメンバーで開催し、各活動の紹介を切り口にネットワークの必要性について意識の高揚を図った。 災害時避難行動要支援者に関する情報を取りまとめた台帳を区長、民生委員、自主防災組織等に配布するとともに、その活用について取りまとめたマニュアルを作成、配布した。更には、地域からの要請により、市、社会福祉協議会、消防と連携し、平成27年度は3区において、説明会を実施した。 第2次小牧市地域福祉計画については、平成27、28年度の2か年で見直しを行うこととし、平成27年度は、庁内検討プロジェクトを関係課職員で立ち上げ検討するとともに、市民アンケート(市民3,000人、中学2年生を対象)、地域福祉推進シンポジウムの開催のほか、策定委員会を2回開催した。</p> <p>◆27年度直接経費の内訳 (=2,800,700円) 委員謝礼 191,700円 食料費 9,000円 策定委託料 2,600,000円</p> <p>◆28年度の直接経費の内訳 (=5,597,000円) 講師謝礼 60,000円 委員謝礼 499,000円 食料費 78,000円 委託料 4,960,000円</p>									
受益者負担	無										

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	162	109	2,800	5,597	
		正職員	従事者数	人	0.01	0.01	0.45	0.45
			人件費	千円	55	55	2,475	2,475
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	217	164	5,275	8,072	
対前年比	%		75.5	3,216.4	153.0			
財源	一般財源	千円	217	164	5,275	8,072		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	地域座談会の開催	回	目標	7	7	25
実績				7	21	20	
モデル地区指定に向けての地域座談会の開催		回	目標	—	3	3	
			実績	—	0	9	
第3次小牧市地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定状況		%	目標	—	—	20	100
			実績	—	—	20	
成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
地域座談会の開催	回	目標	7	7	25	25	
		実績	7	21	20		
市内で開催されるサロンの数	箇所	目標	—	—	—	50	
		実績	—	0	35		

事業の自己評価	事業の達成状況	小地域(区)における福祉活動を推進するため、14区、合計20回の座談会を開催し、見守り・支え合いの必要性について意識の共有を図るとともに、サロン活動(6ヶ所増設)が開始された。また、小学校区を単位とした近所福祉ネットワークの設立支援については、地域福祉座談会を9小学校区において、開催し、他地区の活動も共有し、ネットワークの必要性について意識の高揚を図った。				
	事業実施における課題	福祉活動の基本は小地域(区)であり、その充実に向けた支援体制を含めた強化が必要である。その上で、更なる活動の発展、活動に至らない区の補完を行うため、小学校区を単位としたネットワークを設置するなかで、情報を共有する必要がある。				
	基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	地域座談会の開催を通じて新たなサロン活動が生まれるなど、住民同士の支え合いの必要性や、地域福祉活動を推進するためのネットワークの必要性について、地域住民に考えてもらい、意見を交わす機会を設けることにより、地域福祉活動の普及・拡大に繋がった。				
	平成28年度の改善内容	平成28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	地域福祉計画等策定に向けた団体ヒアリングを行うとともに、全小学校区単位での座談会の開催し、課題を共有するとともに、ネットワークの必要性について普及啓発する。 その上で、第3次小牧市地域福祉計画及び地域福祉活動計画を社会福祉協議会とともに策定する。			
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
判定理由		誰もが、安心して暮らせるまちづくりを推進するためには、住民の福祉意識の高揚、地域福祉活動の基礎組織の構築が不可欠であると考えたため。				
29年度以降の改善案		地域福祉の推進については、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者など全ての地域住民を対象とすることから、地域づくりの基礎となる分野であるとの認識を庁内で共有化するとともに、連携のあり方について明確化する必要がある。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 (29年度は介護保険事業特別会計で実施予定)